

農業の魅力発信に 関する研究

～ホップ栽培の可能性を探る～

生物生産科2年

山中 莉帆 他3名

1 研究の動機

(テーマ)

「地域理解および地域の課題を発見する」



耕作放棄地の問題(高齢化、後継者不足)



耕作放棄地を減らすために
何か新しい作目はないか？

2 研究の目的



「AMAKUSA SONAR BEER」代表
荒木信也さん 天草市五和町鬼池



天草市五和町鬼池の圃場2100㎡で
17品種のホップを栽培

天草地域におけるホップ栽培で農業の
魅力発信と耕作放棄地解消に繋げる

3 研究の目標

①ホップの栽培管理方法を知る

②挿し木の方法を知る

③誘引方法の検討、試験栽培に繋ぐ

④勉強会 3回

4 今年度の研究概要(R2年度)

- ①ホップ栽培についての調べ学習
- ②挿し木による苗育成試験(9～10月)
- ③栽培に関する勉強会(10月～)
- ④栽培圃場の整備、土作り(12月)
- ⑤定植準備(1～2月)
誘引紐下げ、元肥、畦立て
- ⑥苗定植(3月)

5 進捗状況

挿し木による苗育成試験

8月27日

収穫後の蔓を分けてもらい瓶に挿し木

9月10日時点

発根の様子はなく挿し木苗も枯れ気味



調べたところ、挿し木の適期は4月から5月に出る新芽が適しているということがわかった



9月10日撮影

5 進捗状況

ホップについての調べ学習

春から秋に茎葉を出して成長し、冬は根と芽の状態で越す宿根草で、そのサイクルを毎年繰り返す。

ビールに苦みや香りを付け、保存性を高める要素もあることから、原料として生産されている。

日本国内の生産量は東北が圧倒的に多い。

5 進捗状況

ホップについての調べ学習



【3～4月】

土の中から新しい芽が出てきます。



【5～6月】

盛んにホップの蔓が伸び、高さ5mぐらいまで成長します。

5 進捗状況

ホップについての調べ学習



【7～8月】

花が咲いてホップへと成長します。



【8～9月】

収穫

5 進捗状況

10月5日(月) 栽培圃場にて勉強会(1回目)



5 進捗状況

10月5日(月) 栽培圃場にて勉強会(1回目)



5 進捗状況

12月14日(月) 栽培圃場にて勉強会(2回目)



5 進捗状況

栽培圃場の選定

本校で使用していない3連棟のハウスを利用することで支柱を立てる必要もなく栽培可能と判断。天井からヒモを吊り下げて栽培する予定。

面積 約400m²



8月31日撮影

6 次年度の研究概要(R3年度)

①ホップの試験栽培(4～9月)

誘引、追肥、剪定、収穫

②誘引方法の違いによる収量比較試験

③栽培に関する勉強会

④研究のまとめ